

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 27 年度第 2 回相模原市総合計画審議会				
事務局 (担当課)		企画政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 0 3 (直通)				
開催日時		平成 27 年 6 月 1 2 日 (金) 1 6 時 5 0 分 ~ 1 8 時 3 0 分				
開催場所		相模原市役所本庁舎本館 2 階 第 1 特別会議室				
出席者	委員	7 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	8 人 (企画財政局長、企画部長他 6 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	なし
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		開会  1 会長・副会長の選出  1 議事  ( 1 ) 相模原市の概要について  ( 2 ) 総合計画進行管理について  ( 3 ) その他  閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

( 委員の発言、 会長の発言、 事務局の発言 )

開会 齋藤企画部長

### 1 会長・副会長の選出

事務局より、資料1「附属機関の設置に関する条例」及び「相模原市総合計画審議会規則」に基づき、本審議会の設置目的、任期等について説明を行った。続いて、会長及び副会長については、規則第3条の規定に基づき、委員の互選により選出する旨の説明が行われ、互選により会長に総合政策プランナーの吉田民雄委員、副会長に相模女子大学教授の金森剛委員が選出された。

### 2 議事

吉田会長の進行により議事に入った。

#### ( 1 ) 相模原市の概要について

議事(1)「相模原の概要について」事務局から説明願いたい。

事務局より資料2「相模原市の概要について」の説明が行われたのち、質疑に入った。

議事(1)について、質問、意見をいただきたい。

質疑・意見なし。

#### ( 2 ) 総合計画進行管理について

議事(2)「総合計画進行管理について」事務局から説明願いたい。

事務局より資料3「新・相模原市の進行管理について」の説明が行われたのち、質疑に入った。

議事(2)について、質問、意見をいただきたい。

資料3（オ）で、実績の評価に対し市民アンケートを使用するとあるが、この規模等について伺う。

市民アンケートは、20歳以上の市民を対象に3,000人を無作為抽出して毎年行っているものである。現在、アンケート調査の結果を取りまとめているところであり、この結果を成果指標の測定結果として使用し、施策評価をしている。

質問項目はどのくらいあるのか。

50以上ある。

主要な設問としてどのようなものがあるのか。

例えば、「新・相模原市総合計画」の43ページの下にある成果指標の「【指標1】地域で、住民が支えあっていると感じる市民の割合」が分かるような内容の設問となっている。

全てがアンケートの数値を使っているわけではないが、「新・相模原市総合計画」の231ページの成果指標一覧において、出典が「市民アンケート」となっているものが、アンケートの数値を使用しているものである。

全92指標のうち、35指標が市民アンケートに基づく成果指標である。

資料3に関連して、部会のメンバー構成を決定する必要がある。事務局で案はあるか。

事務局から資料「部会構成員（案）」を配布

提案についていかがか。

異議なし

（3）その他

議事（3）「その他」について事務局から説明願いたい。

事務局より資料4「まち・ひと・しごと創生に係る地方版総合戦略の策定の考え方について」の説明が行われたのち、質疑に入った。

地方創生に関しては、本審議会で素案についての意見を出すことになっている。今の説明について何か意見があればお願いします。

推計から判明した課題として、「大学生世代の転入超過」と「大学卒業とともに転出」という部分が非常に特徴的だと思う。さまざまな年代から意見を聴取すると思うが、大学生世代については、ひとつの塊としてアンケートをとることができれば、若者にとって何が魅力的なのか分析できるのではないか。

アンケートの実施やニーズの把握は有用である。何か考えはあるのか。

総合戦略は、さまざまな意見を聞きながら策定を進めていきたいと考えており、若者の考え方は大変に重要であることから、若い世代の考え方を取り入れながらまとめていきたいと思う。

転出入先など、アンケートを行う前提としてどのようなデータを把握しているのか。

人口構成の変化や転出入先など、さまざまなデータを示しながら議論いただきたいと考えている。また、結婚、出産、子育てに関する国民意識などの国のデータも提供していく。

これまで学生を政策の対象として捉えていなかったが、これからは、大学をまちづくりの基本的な資源として見ていく必要があると思う。相模原の特徴である大学の多さを資源として捉えるのであれば、若い世代の活力をどのようにまちづくりに活用するのかなど、相模原市にアイデンティティを持ってもらうための仕掛け作りを考える必要があると思う。

住宅購入世代はどこへ転出していくのか。

以前よりも地価が下落しているため、東京23区を中心に、都心回帰が進んでいる。

将来を見定め、相模原市にとって何が資源になるのかを踏まえ、特徴のある総合戦略を策定していただきたい。

他に質問等は無いか。無ければ、本日の議事は終了とする。

閉会 齋藤企画部長

以 上

## 相模原市総合計画審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	荒井 容子	法政大学社会学部社会学科		欠席
2	岡本 真佐子	青山学院大学地球社会共生学部 地球社会共生学科		出席
3	金森 剛	相模女子大学人間社会学部 社会マネジメント学科	副会長	出席
4	佐藤 慶一	公募		欠席
5	鈴木 敏彦	和泉短期大学児童福祉学科		欠席
6	長野 基	首都大学東京都市環境学部建築都市 市コース・大学院都市環境科学研究科都市システム科学域		出席
7	林 恵子	公募		出席
8	宮 久美子	公募		出席
9	三好 上次	公募		出席
10	吉田 民雄	総合政策プランナー	会 長	出席